

1. 活用推進者

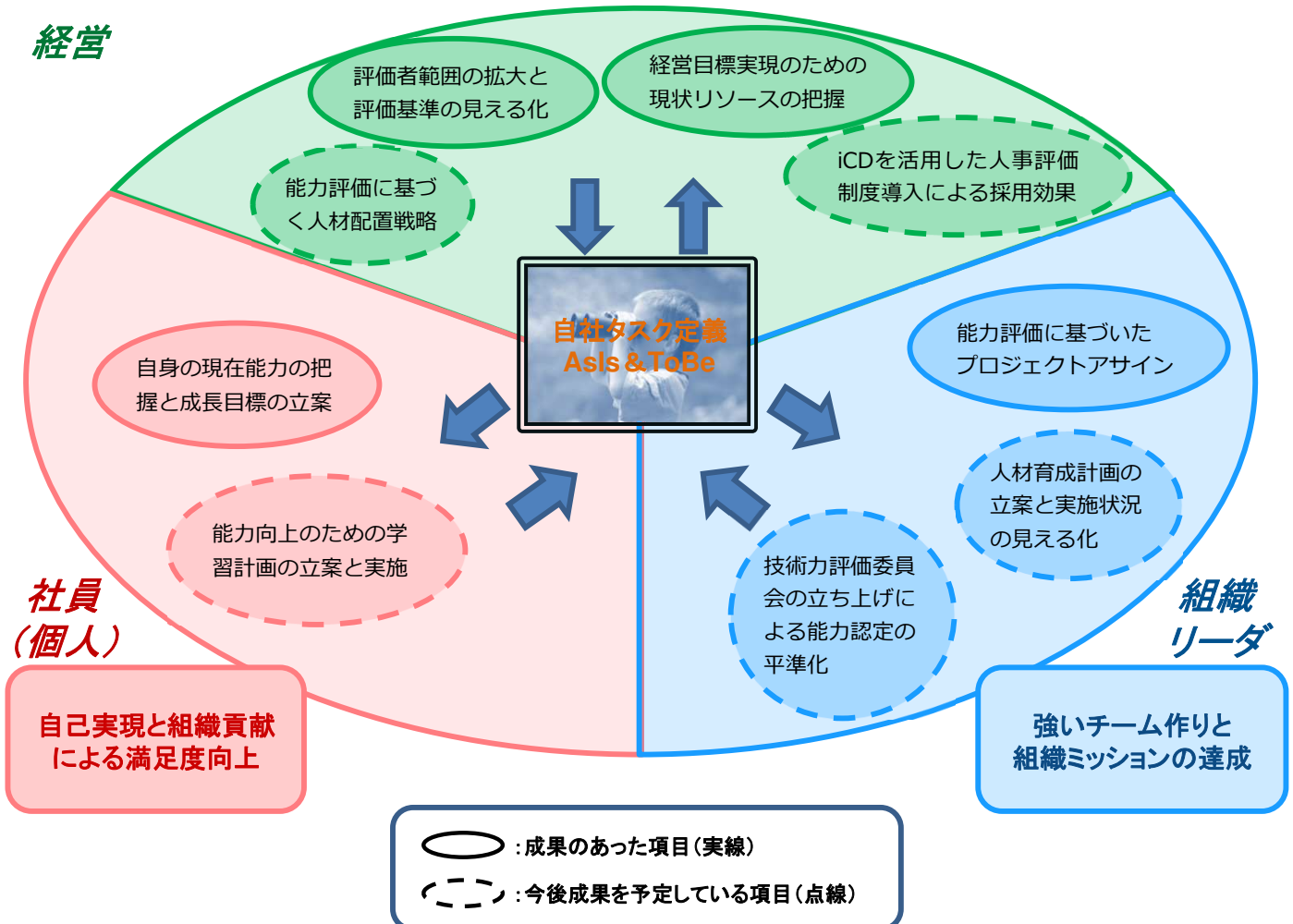
人材開発室
執行役員CTO
佐々木 努

2. 会社概要

- 社 名 : 株式会社YAZ
- 所 在 地 : 東京都渋谷区渋谷2-7-5 ヒューリック渋谷二丁目ビル4階
- 設 立 : 2004年6月16日
- 代 表 者 : 代表取締役CEO 田中 康之
- 資 本 金 : 30,000千円
- 社 員 数 : 85名(2023年4月現在)

3. iCD取組み効果

経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築



4. iCD取組みの効果及び今後予定する効果内容

4.1. 効果のあった項目	効果内容
経営目標実現のための現状リソースの把握	自社の役割タスク評価表に基づき、自己評価を行うことで、自社の役割レベルを見える化するWebシステムを構築し、全社員が実施することで社員能力を見える化することで、現状リソースに対する認知を揃えることができた。
評価者範囲の拡大と評価基準の見える化	人事評価制度のグレード定義にiCD能力基準を追加することで、求められている能力基準が明確になったことで、これまでは、部長が行っていた部下の人事評価を、マネージャ、主任にまで任せられるようになった。
能力評価に基づくプロジェクトアサイン	個人目標と、組織の年間目標を、上長との打ち合わせを基にすり合わせる際に、本人の役割レベルを確認しながら行うことで、アサインするプロジェクト内での役割や貢献期待の参考値にすることができた。
自身の現在能力の把握と成長目標の立案	自分の能力を客観的な指標を基に、上長に説明ができるようになり、上長との対話の中で、成長が期待されている能力を把握することができることで、適切な目標設定をできるようになった。
4.2. 効果を予定している項目	予定している効果内容
能力評価に基づく人員の配置戦略	個人の能力評価を基にした部門間での人材異動制度を実現する。また能力に応じた専門チームの構築により、スキルトランスファーの活性化を行う。
iCDを活用した人事評価制度導入による採用効果	日本スキル標準であるiCDを人事評価制度の能力基準として活用することで、能力に基づいた人事評価を行うというメッセージとなり採用応募者へのアピールとなる。
人材育成計画の立案と実施状況の見える化	組織計画達成のための強みづくりとして、人材育成計画の立案と実践のための育成環境の構築を行う。
技術評価委員会の立ち上げによる能力認定の平準化	上長の保有技術に関わらず、所属人員の適切な能力把握と、公正な評価により、マネジメント人材の育成と採用の幅を広げる
能力向上のための学習計画の立案と実施	成長目標となる能力に応じて、必要な教育コンテンツや機会を提供することで、技術者育成の効率を高める

5. iCD活用に対する現場からの評価の声



経営者

iCD能力基準を活用することで、自社に不足している技術領域が、これまでは感覚値として捉えていたが見える化できたことで、実施する各施策の効果を把握できるようになった。



現場リーダー

これまでの目標管理制度では、個人が書いてきた目標について、把握・理解して、評価しやすい内容に補足させるぐらいしかできなかったが、iCD能力診断結果を活用することで、伸ばしてほしい分野が客観的に見える化できて、指導しやすくなった。

通常業務と並行して、1週間以内に、iCD能力診断を実施することは負担が大きかったが、その後の面談で上長と話す際に具体的な話ができることはよかったです。

新しいプログラミング言語の習得を目標としていたが、上長との対話の中で、設計力を伸ばすことで、より選択できるプロジェクトの幅が広がることが理解できたので目標を見直すことにしました。



社員

6. iCD取組みの効果

1) 人事評価制度とiCD基準との紐付け

< 取り組み内容 >

これまで人事評価として実施してきた目標管理制度とグレード・ランク制度に対して、iCD能力診断結果を紐づけることで、各グレードに求める役割を果たすために必要な能力を見える化した。

< 効果 >

- ・ 年初に目標を設定するために一次考課者と本人が面談を実施する。その際に、iCD能力診断結果を活用することで、適切な目標設定について話し合うことができる。

(事例, 2年目 タスク小分類分布)

タスク大分類 コード	タスク大分類	タスク中分類 コード	タスク中分類	タスク小分類 コード	タスク小分類	2年目	L0	L1	L2	L3	L4
PL03	UIデザイン	PL03.3	デザイン制作	PL03.3.1	ビジュアルデザインの作成	0					
				PL03.3.2	HTML/CSSコーディング	2					
				PL03.3.3	ガイドラインの徹底	0					
				PL03.3.4	デザイン制作レビュー	0					
		DV05.6	ソフトウェア詳細設計	DV05.6.1	ソフトウェアコンポーネント設計 (機能分割・構造化)	1					
				DV05.6.2	入出力詳細設計	2					
				DV05.6.3	パッケージカスタマイズ・アドオン設計	0					
				DV05.6.4	データサービスの活用	0					
		DV05.7	ソフトウェアコード作成・単体テスト	DV05.7.1	プログラム構造設計 (モジュール分割・モジュール設計)	2					
				DV05.7.2	単体テスト仕様作成	2					
				DV05.7.3	プログラミング	2					
				DV05.7.4	単体テストの実施と評価	2					
DV05.8	ソフトウェア結合テスト	DV05.8.1	結合テスト仕様作成	2							
		DV05.8.2	ソフトウェア結合	0							
		DV05.8.3	結合テストの実施と評価	2							
DV08	Webサイト開発	DV08.4	ソフトウェア詳細設計	DV08.4.1	ソフトウェアコンポーネント設計 (機能分割・構造化)	1					
				DV08.4.2	入出力詳細設計	2					
				DV08.4.3	データサービスの活用	0					
		DV08.5	ソフトウェアコード作成・単体テスト	DV08.5.1	プログラム構造設計 (モジュール分割・モジュール設計)	2					
				DV08.5.2	単体テスト仕様作成	3					
				DV08.5.3	プログラミング	3					
				DV08.5.4	単体テストの実施と評価	3					
		DV08.6	ソフトウェア結合テスト	DV08.6.1	結合テスト仕様作成	2					
				DV08.6.2	ソフトウェア結合	0					
				DV08.6.3	結合テストの実施と評価	2					
DV08.7	システム適格性確認テスト	DV08.7.3	システム適格性確認テストの実施と評価	0							
DV09	システムテスト	DV09.2	システムテスト実施	DV09.2.1	システム結合	0					
				DV09.2.2	システムテストの実施と評価	0					
				DV09.3.2	運用テストの実施と評価	0					
DV10	セキュリティテスト	DV10.2	セキュリティテスト実施	DV10.2.1	セキュリティテストの実施	0					
				DV10.2.2	セキュリティテスト結果の対策実施	0					
US04	Webサイト運用管理	US04.1	利用者向けサービス運用管理	US04.1.1	キャンペーン管理	0					
				US04.1.2	メール配信管理	0					
		US04.2	Webサービス運用管理	US04.2.1	Webコンテンツの運用管理	0					
				US04.2.2	Webコンテンツの制作と更新	0					
				US04.2.3	Webマーケティング施策の支援	0					
				US04.2.4	Webコンテンツ技術サポート	1					
US04.2.5	携帯・スマートフォンサイトの運用	0									
EV01	システム評価・改善	EV01.1	ITシステムの評価	EV01.1.1	ITシステム評価指標による検証	0					
				EV01.1.2	ITシステム評価報告の成案化	0					
		EV01.2	ITサービスの評価	EV01.2.1	評価目標の設定	0					
				EV01.2.2	ITサービス評価指標による検証	0					
				EV01.2.3	ITサービス評価報告の成案化	0					
				EV01.2.4	利用状況からの課題の発見と新たな価値の創出	0					
EV01.3	Webサイトの評価	EV01.3.1	Webサイトの評価	0							

目標として設定することで早期に一人で実施できるレベルを求めたいタスク

6. iCD取組みの効果

2) iCD能力診断結果データの分析

<取り組み内容>

全社的に実施したiCD能力診断結果データを各種指標別に整理することで定量的に把握できるようにした。

<効果>

- ・各部門が実施している教育施策の効果を定量的に把握できるようになった。

(事例. 各部門のタスク大分類平均比較)

タスク大分類コード	タスク大分類	ビジソル部	アイソル部	ビジネス推進部
ST01	事業戦略策定	1.0	1.0	
ST02	事業戦略把握・策定支援	1.0	1.0	
ST03	IT製品・サービス戦略策定	0.7	1.0	
PL01	IT戦略策定・実行推進	0.7	0.0	
PL02	システム企画立案	1.1	1.3	
PL03	UIデザイン	1.0	1.2	
DV01	システム要件定義・方式設計	1.6	1.3	
DV02	運用設計	1.5		
DV03	移行設計	2.0		
DV04	基盤システム構築	1.2	0.0	
DV05	アプリケーションシステム開発	1.7	2.0	
DV08	Webサイト開発	1.4	2.0	
DV09	システムテスト	1.3	1.5	
DV10	セキュリティテスト	1.1	1.1	
DV11	移行・導入 (システムリリース)	1.4	0.0	
DV12	ソフトウェア保守	1.8	2.1	
DV13	ハードウェア・ソフトウェア製品導入	1.3	0.8	
DV15	プロジェクトマネジメント	1.7	1.4	
US01	サービスデスク	0.6	0.5	
US02	IT運用コントロール	1.0	1.0	
US03	システム運用管理	0.9	0.0	
US04	Webサイト運用管理	0.6	0.6	
US06	サービスマネジメント	1.0	0.0	
EV01	システム評価・改善	0.6	0.6	
EV02	IT戦略評価・改善	0.9	0.0	
EV03	IT製品・サービス戦略評価・改善	0.6	0.0	
EV04	事業戦略評価支援・改善支援	0.3	0.0	
EV05	事業戦略評価・改善	0.3	0.0	
EV06	資産管理・評価	0.3	1.0	
MC01	ラインマネジメント	1.4	2.0	
MC02	事業継続マネジメント	0.6	0.0	
MC03	情報セキュリティマネジメント	0.9	1.0	
MC05	品質マネジメント	1.4	1.1	
MC06	契約管理	1.0	1.0	
MC07	コンプライアンス	0.0		0.5
MC08	人的資源管理	0.0		1
CM01	マーケティング・セールス	0.7	1.3	
CM03	調達・委託	0.8		
CM04	標準の策定・維持・管理	1.0	2.0	
CM05	新ビジネス・新技術の調査・分析と技術支援	1.3	2.0	
CM06	データ活用			
CM07	新たな価値創造による新規製品・サービス開発	0.9	1.0	
SP01	営業業務	1.3	1.0	
SP02	総務・人事・経理	0.0		1
SP03	エデュケーション	0.0		1

ビジソル部門は、クラウド基盤の設計・構築に特徴がある

アイソル部門は、Web、スマホアプリ開発に特徴がある

プロジェクト管理力の全体的底上げが求められる